# 日時付き
# メール添付ファイルの保存

## 1．処理内容

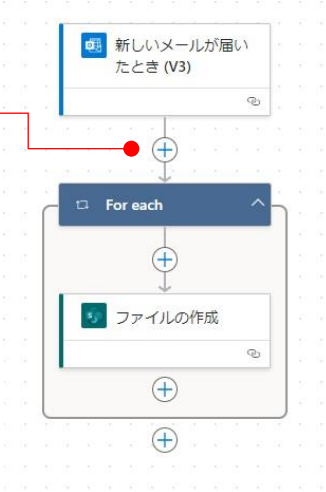
メール添付ファイルを保存するときに、日時をファイル名に付加して保存する自動化フローです。

自動化フローは次のようになります。
「メール添付ファイル保存」自動化フローに日時を追加します。



## 2．日時の追加

●新しいファンクションの追加




●日時に関するファンクションを探します。「時間」で検索。




●さらに表示

●現在の時刻を取得。時刻は世界標準時間になっている。
時刻を取得するだけで、特に追加処理はない。

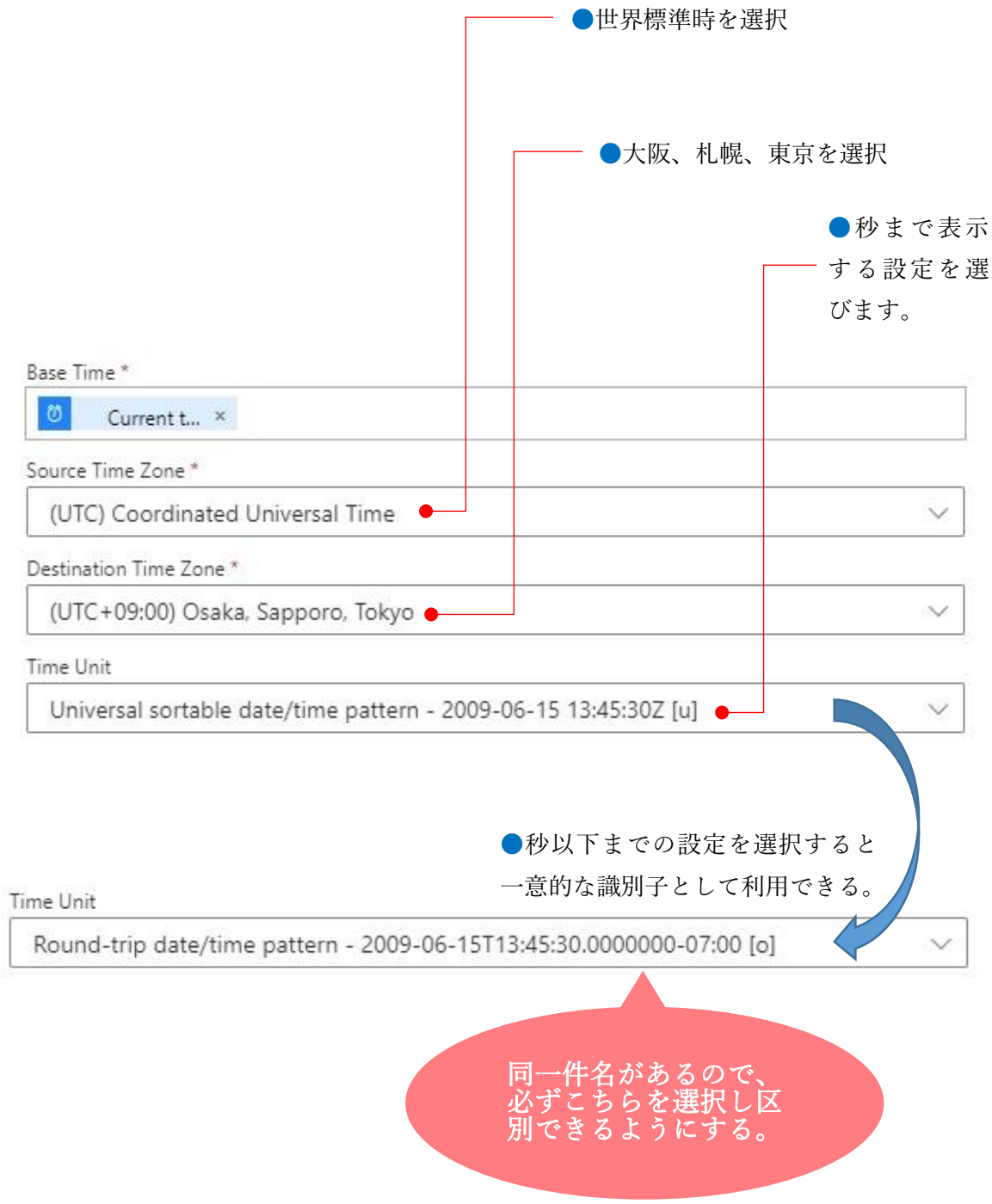


# 3．タイムゾーンの変換

取得した時刻は世界標準時間であるため、日本時間に変換します。

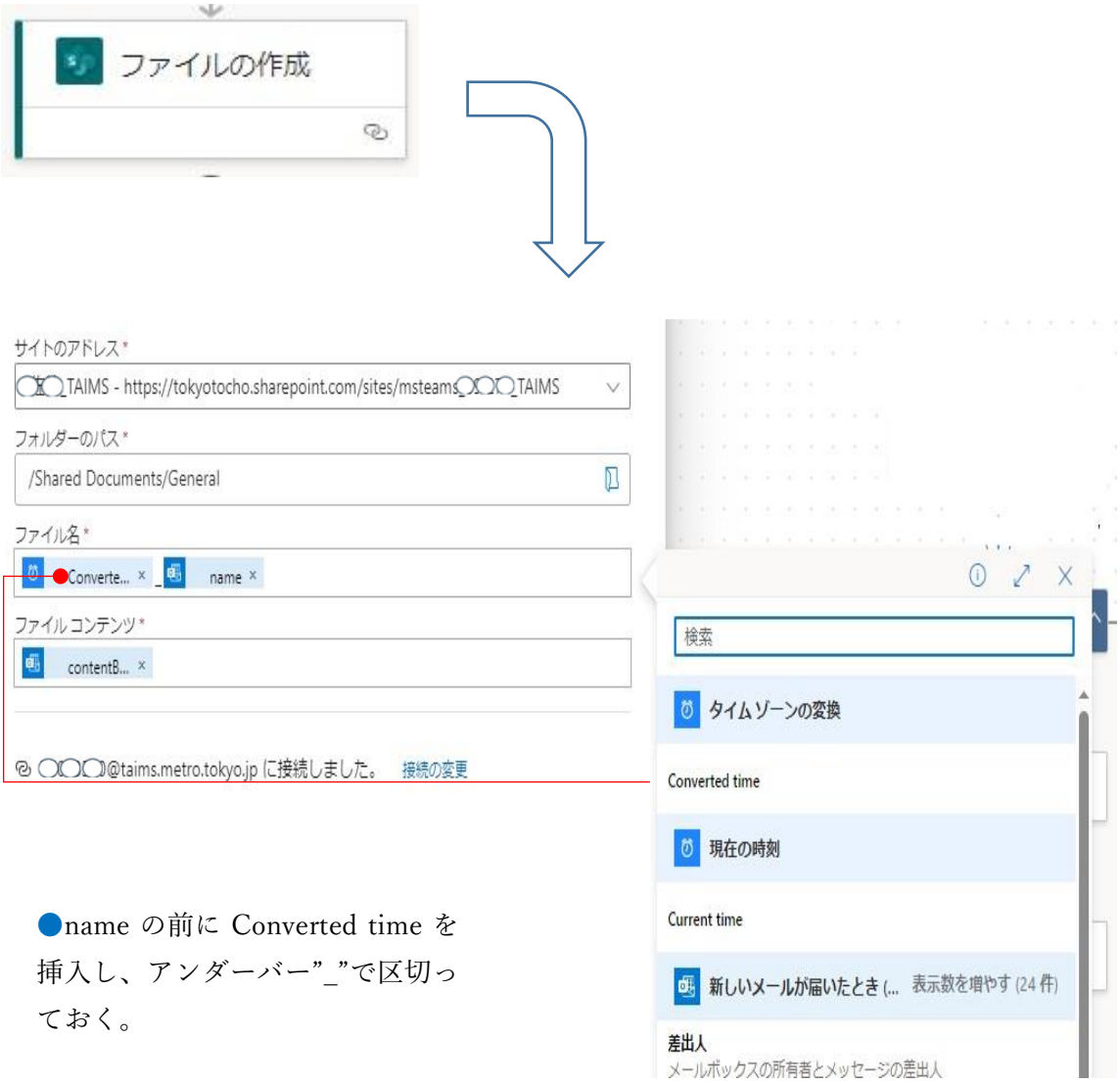



Base Time *
Current t... ×
Source Time Zone *
(UTC) Coordinated Universal Time
Destination Time Zone *
(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
Time Unit
Universal sortable date/time pattern - 2009-06-15 13:45:30Z [u]
●現在時刻を設定
●利用可能な情報を表示
検索
現在の時刻
Current time
新しいメールが届いたとき (... 表示数を増やす (24 件)
差出人
メールボックスの所有者とメッセージの差出人
宛先
メッセージの受信者
件名
メッセージの件名
本文
メッセージの本文
重要度
メッセージの重要度 (低、標準、高)
添付ファイルあり
メッセージに添付ファイルがあるかどうかを示します
For each


●世界標準時を選択
●大阪、札幌、東京を選択
●秒まで表示する設定を選びます。
Base Time *
Current t...
Source Time Zone *
(UTC) Coordinated Universal Time
Destination Time Zone *
(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
Time Unit
Universal sortable date/time pattern - 2009-06-15 13:45:30Z [u]
●秒以下までの設定を選択すると一意的な識別子として利用できる。
Time Unit
Round-trip date/time pattern - 2009-06-15T13:45:30.0000000-07:00 [o]
同一件名があるので、必ずこちらを選択し区別できるようにする。

# 4．ファイル名の生成

ファイル名の先頭に日時を付加します。




●name の前に Converted time を挿入し、アンダーバー"_"で区切っておく。




●ファイルコンテンツは、「添付ファイル」で検索して、「添付ファイルコンテンツ」を設定する。

## 5. 自動化フローの保存

作成した自動化フローを保存して完成です。
完成後は、手動でテストを行うことができます。